第５回鳥取市街なか居住推進調査研究会【議事要旨】

日　時　　平成21年3月26日(木) 14時00分～15時50分
場　所　　鳥取市役所本庁舎4階第2会議室　に於いて
出席者　　委　員　…小林会長、山下副会長、張委員、小谷委員、藤本委員、倉持委員、松原委員、
　　長谷川委員、田中委員　(欠席…山下委員)

- 会長あいさつの後、報告事項に移る。
- 報告事項

(1) 第4回研究会議事要旨(案) について(資料2に基づき、事務局が説明)　　質問･意見なし。
(2) アンケート調査結果(案) について(資料3－1、3－2、参考資料に基づき、藤本委員が説明)
①土地利用に関するアンケート調査について
○　定期借地権付き住宅に対して「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」とを合わせると約1割あるが、これは、明るい数値と思う。
○　中心市街地の土地は流動しておらず、売買が少ない。地主の考え方を変えさせるものが必要だ。
○　「定期借地権付き住宅の敷地として貸してもよい」と回答している地主さんに対して、引き続き情報発信していくべきだ。
②居住に関するアンケート調査について
○　「今後住み替えるとした場合に希望する場所」と「その希望する理由」については、年齢構成別の分析が必要と思う。
③鳥取暮らし･二地域居住アンケート調査について
○　鳥取市と関わりが強い人だけのクロス集計の追加が必要と思う。
(3) 本年2月19日に開催した街なか居住推進セミナーでの参加者アンケートの集計結果について(参考資料に基づき、事務局が説明)
○　セミナーの参加者は、定期借地権付き住宅やコーポラティブ方式への理解が深まっていることが分かる。

- 議事

(1) 提言(案) について(資料4-1、4-2 に基づき、事務局が説明)
○　「供給者と消費者」の記述を、「供給者と需要者」に改めたほうがよい。
○　「土地に関する課題」について、固定資産税に関する課題として、「空家の土地に対する固定資産税の住宅用地特例の適用についてはその判断が難しい」ことと、「収益還元法に基づく不動産評価が行われにくい」ことを追加記入すること。

- 閉会

提言書が完成し、この研究会は今回で全て終了した。
この会議終了後の午後4時、会長から(各委員同席)、市長へ提言書を提出する。